

平成20年度第1回NPO（ボランティア団体・市民活動団体等）からの
協働事業等提案審査委員会議事概要

日 時：平成20年4月8日16：00～17：00

場 所：みえ県民交流センター 控え室

参加者：浅野委員、田部委員、川村委員、服部委員（平成19年度委員）、畑中委員、大山委員、
西城委員（平成19年度委員）、瀧口委員、小西委員
男女共同参画・NPO室 亀井室長、辻、明石

概 要：

1. 平成20年度協働事業等提案公開審査会設置要綱について

事務局説明

- ・ これまで、審査委員とサポート委員を兼ねていたが、平成20年度は、審査委員とサポート委員を別々をお願いすることにしているため、平成19年度の要綱からサポート委員の役割を削除して公開審査会設置要綱とした。

意見交換

- ・ サポート委員の要綱と合わせてみないと意見が出せない。
- ・ これまで、進行管理や翌年度の進め方、制度の改善についても話し合ってきた。
- ・ 今後、サポート委員の派遣は誰がすることになるのかも含めて、サポート委員会を設置するのか、この審査委員会の要綱の中で謳うのか話し合う必要がある。
- ・ 審査会は審査をするだけなのか。
- ・ 平成20年度の要綱は、平成19年度の要綱から個別の提案のサポートをする役割だけを省いた形にした。その他の機能は、これまでどおりと考えている。これまでも、その他「NPOからの協働事業提案」に関し必要な事項ということで、様々な課題の意見交換をしてきている。
- ・ それでは、要綱はこれまでどおりの表現でいくのか、制度の改善を担っていることを表現するのかという問題と、サポート委員会をどうするのかという2つの問題があるということか。
- ・ 実質的に変わらないのであれば、要綱の表現はこのままでいいのではないか。
- ・ サポート委員については、サポート委員会を設置する方法と、サポート委員は個人をお願いすることにして、中間報告などの際に審査会に出席してもらうという方法がある。
- ・ サポート委員に委員会として動いてもらうのは、負担が大きいのではないか。
- ・ 審査会とサポート委員の意見交換は必要である。
- ・ サポート委員同士が集まり、サポートの仕方を情報交換し、意見交換や中間報告をするといいと思う。

意見のまとめ

- ・ サポート委員の要綱を次回までに作成し、審査会設置要綱と合わせて議論する。

2. 企画提案コンペ審査要領について

(1) 条文とプレゼンテーション細目

事務局説明

- ・ 昨年度からの変更点は、「5. 発表」のところで、関係室からの意見の後、審査委員からの質疑の時間を設けたことである。1 提案の持ち時間が25分から30分になる。

意見交換

- ・ 関係室への質疑の時間を設けることは、以前から出ていた意見なので異論はない。
- ・ 「6. 公開審査会スケジュール」の「3. 審査」で、「得点だけで決めるのではなく、総合判断により選定します」とあるが、今までも総合判断をしてきたのか。
- ・ 第4条第5号で「男女共同参画・NPO室は、・・・過半数の委員の評価点が水準点以下となる場合や、事業遂行能力について過半数の委員が、問題があると認めた事業提案は、優先順位が高くても不採用とすることができるものとします。」と謳われているのが総合判断であれば、審査会の役割ではないということか。
- ・ そこは、審査会で採点して、室長が決定するということを行っているのではないか。
- ・ 審査会でも採点後に話し合って優先順位を決めているので、総合判断しているといえる。
- ・ 実際に審査会で総合判断していて、そのことをオープンにしていくのであれば、はっきり書いておいた方がいい。

意見のまとめ

- ・ 発表の時に委員から関係室への質疑の時間を設ける。
- ・ (選定案の作成及び決定) 4条を、選定案の作成と選定に分けて書く。
- ・ (選定案の作成) 4条とし、同条第5号は委員会の役割とする。
- ・ (選定) 5条とし、男女共同参画・NPO室で選定することを明記する。
- ・ 「6. 公開審査会スケジュール」の「3. 審査」の、「総合判断により選定します」という表現は、「総合判断により選定案を作成します。」とする。

(2) 審査・採点基準兼採点表

事務局説明

- ・ 今年度の審査の視点に合わせて昨年度と同様の採点基準で作成した。意見をお願いしたい。

意見交換

- ・ 昨年度の議論で、特に重視する項目の配分は1.2倍が妥当としたので異論はない。
- ・ 78点満点だとどれくらいの点数なのかがわかりにくいという意見があった。
- ・ 選定案は順位点で決定するが、結果の通知で素点を発表しているのは、自分たちの提案がどう評価されたのかを示すためである。
- ・ 採点結果をわかりやすくするには、78点を10進法に換算すればいい。
- ・ 選定要領を公表するのであれば、78点満点で示せばいいのではないか。
- ・ 審査対象外の項目は削除してはどうか。

- ・ 審査対象外でも意識してほしい。
- ・ 斜線ではなく、水平の棒で対象外であることを示す。

意見まとめ

- ・ 特に重視する項目の配分は1.2倍する。
- ・ 点数は素点のまま公表する。
- ・ 審査対象外の項目も意識して提案してほしいので、採点表の項目は残し、「-」で該当しないことを表示する。

3. サポート委員について

事務局説明

- ・ サポート委員は、これまでのサポート委員経験者や、ふりかえり会議のコーディネーターなどが候補として考えられる。提案が出揃わなければ、現時点では候補者も決められないが、選んでいく際の意見があればお願いしたい。

意見交換

- ・ 出動できるエリアや、分野など、大まかな分類をしてはどうか。多少、心得のある分野の方がいい。
- ・ 候補者に承諾をもらって、中長期的に名簿を増やしていくといい。
- ・ 要綱との兼ね合いがあるが、サポート委員を登録制にするのか、事務局の候補者名簿とするのか、ふたつの方法がある。
- ・ 名前が増えていくのがよい。ふりかえり会議のコーディネーターは、毎年、増えていくものなのか。事務局としては、ふりかえり会議のコーディネーターの中から選びたいということか。
- ・ ふりかえり会議のコーディネーターは、毎年、数名ずつ増えていく。この中から選ぶというのではなくて、候補として考えられるということである。
- ・ 県と関わりのある人が固定してきているのではないか。新しい顔ぶれを入れていきたい。

意見まとめ

- ・ 次回の委員会でサポート委員の要綱と合わせて候補者についても議論する。

4. その他

次回委員会 平成20年5月22日(木)